



2024年2月6日

各 位

会社名 アミタホールディングス株式会社
代表者 代表取締役会長 兼 CVO 熊野英介
(コード番号: 2195 東証グロース)
問合せ先責任者 代表取締役社長 兼 CIOO 末次貴英
TEL (075) 277-0378 (代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は2023年2月13日に公表した2023年12月期(2023年1月1日~2023年12月31日)の連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年12月期連結業績予想数値の修正(2023年1月1日~2023年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 5,283	百万円 774	百万円 887	百万円 620	円 銭 35.37
今回修正予想(B)	4,536	472	530	308	17.57
増減額(B-A)	△746	△302	△356	△311	
増減率(%)	△14.1	△39.0	△40.2	△50.3	
(ご参考)前期実績 (2022年12月期)	4,824	609	715	531	30.29

2. 連結業績予想数値修正の理由

トランジションストラテジー事業領域において、循環型の事業創出・事業変革を統合的に支援する「Cyano Project (シアノプロジェクト)」に関して、大手企業を中心とした長期的視点でのサステナビリティへの機運の高まりから、多くの問い合わせが継続しています。しかし、グローバルサプライチェーンの不安定化等が深刻化する中で、短期的には足元の結果・評価に直結する事業活動を優先する企業が増加しています。その結果、ESG 施策に関する意思決定や商談スケジュールが後ろ倒しとなり、Cyano Project の受注速度が遅れております。またサーキュラーマテリアル事業領域において、資源価格の高騰や人員不足等に起因して製造業界が低調であること等により、セメント原料及び非鉄金属原料の取扱量が計画に対して10%程度減少したことや新商材の開発・提供の遅れ等が生じております。さらに、海外マレーシア事業において、直近では再資源化の取扱量は前年度を上回る回復をしているものの、第2四半期までの顧客企業の減産等の影響が残存し、計画に対して取扱量が約15%減少しております。

このような状況等から、売上高は、主に上記の理由により予想を下回る見込みとなりました。営業利益は、計画に対する製造原価及び販売管理費の低減はあったものの売上高の減少などにより予想を下回る見込みとなりました。経常利益は営業利益の減少や計画に対するマレーシア事業に関わる持分法投資利益の減少など、親会社株主に帰属する当期純利益は経常利益の減少などに

より、予想を下回る見込みとなりました。以上の結果、連結業績予想を修正いたします。
なお、今回の連結業績予想修正に伴う配当予想の修正はありません。

(注) 上記予想値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、
実際の業績は今後の様々な要因により異なる場合があります。

以 上